

平成28年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立楠見小学校

校長名 岡本 晶彦

作成日 平成28年5月2日

学校教育目標

正しい人権意識や、豊かな心を持ち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

家庭・地域との連携を深める

人に優しい子どもを育てる

基礎学力の定着を図る

開かれた学校

豊かな心

確かな学力

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の教育活動や児童の活動の様子をタイムリーに学校便り等で発信する。また、家庭や地域との連携の場を生かし、協力・協働の立場で児童の健全育成を目指す。 ○ 家庭や地域の願いを知る機会を大切にし、学校関係者評価を学校教育活動の見直しや改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統として受け継がれている「下級生に優しい子、困っている子に優しい子の育成」を目指し、人権教育や生徒指導に取り組む。 ○ 児童の規範意識を高めるとともに、いじめや不登校、問題行動等の解決に向けて組織的、継続的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生を除く全学年の児童を対象に学力調査を実施し、児童一人一人の実態を把握する。 ○ 学習プリント等、児童一人一人の実態に応じた手だてをチームで考えながら取り組み、学びっこタイムの充実を図る。 ○ よくわかる授業づくりの実践をめざす。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校だより」「保健室だより」「給食だより」等を家庭や地域に配付したり、学校のホームページを更新したりするなど、連携の基となる情報発信を心がける。 ○ 児童の登下校を見守る子育て支援ネットワーク楠見の方々と校区内巡視、登校指導を協働する。また、学校行事等への招待等を通して、日頃の活動への感謝の意を表す。 ○ 婦人会や老人会の方を講師やゲストに招き、地域に残る文化財等、ふるさと楠見を学ぶ機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団登校、異学年のペア活動等、異年齢での活動の良さを生かした取組を積極的に取り入れる。 ○ 「楠見の子」「登校しにくい子」「見守りたい子」等の支援シートを作成し、生徒指導や不登校児童への指導に役立てる。 ○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの来校する機会を生かし、問題行動等の解決に向け、組織的に取り組む体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の学力実態を把握し、その後の取組の成果と課題について全体で協議する場を持つ。 ○ 個別の教育支援計画を立てシートを作成する。また、そのシートを各教科の指導に活用する。 ○ 学習習慣の定着と自学自習力の育成を図るため、児童の習熟度にあった学習プリントを準備する。 ○ 読解力や表現力の向上に繋げるため、図書館教育の充実を図る。 ○ きのくにフォローアップ事業、現職教育等を生かし、研究授業やお互いに参観することで実践力を高める。